

第25回 ユニバーシアード競技大会(2009/ベオグラード) 【マッチレポート】

日 時 : 2009年7月8日(水) 17:30(日本時間-24:30) Kick Off

Stadium FC "Obilic"
場 所 : スタジアムFCオビリック

■試合結果■

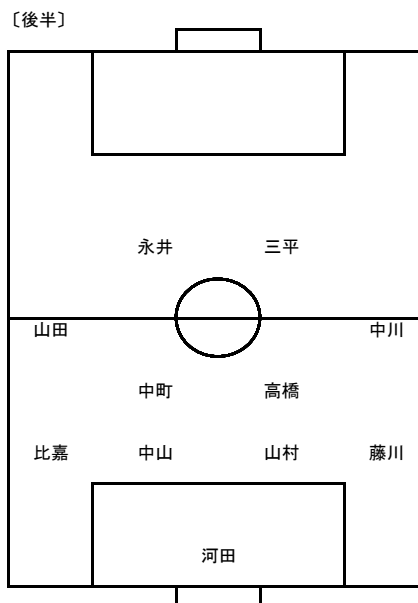
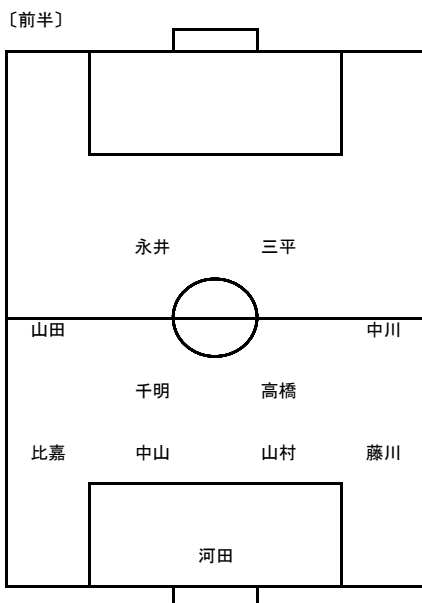
ユニバーシアード日本代表 1 (0 - 0) 2 ユニバーシアードイタリア代表



■得点■

[時間]	[チーム]	[得点者]	[アシスト]
'18	日本	三平 和司	
'40	イタリア	Lolaico Giuseppe	
'50	イタリア	Ramaglia Mario	

■布陣■



■交代■

[時間]	[OUT]	[IN]	[時間]	[OUT]	[IN]
-	-	-	'46(HT)	千明 聖典	→ 中町 公祐
			'56	中川 裕平	→ 三島 康平
			'86	永井 謙佑	→ 木原 正和

■戦評■

ユニバーシアード第5戦目、準決勝戦はイタリアとの間で行われた。大雨と雷の影響で30分遅らせての試合開始となった。キックオフは日本、16分

ゴール前で落ち着いてトラップをして切り込もうとした三平に対してイタリア選手のファールでPKを得た。それを三平が自ら決め1-0とする。

その後は、今回先発の永井にボールを集めようと縦への単調なパスが増えるが得点には結びつかない。逆にイタリアのDF背後を狙って来る

素早い攻撃に苦しめられ40分には対応が遅れ失点し1-1と同点にされ前半終了。後半、千明→中町を交代してスタート。最初から集中を持って

試合に臨みたいところであったが、開始5分、イタリアの縦に速い攻撃からループシュートが決まり1-2となる。56分中川→三島に交代し攻撃に厚み

を持たせた。CKも連続で奪うなど何度もチャンスを作るも得点まで結びつかない。イタリアは疲れが出てきて精度は落ちるもののDF背後へのパス

を繰り返し、日本DF陣は身体を張ったプレーでシュートを直接打たせないようにブロックしていた。86分疲れの見える永井→木原に代え、

インジュリータイム3分の表示が出たところで山村を前線に上げパワープレーを試みたが、得点を奪うことが出来ず試合終了。得点チャンスも

多くあっただけに前半終了5分前、後半開始5分までの最も集中しなくてはならない時間帯の失点は悔やまれる。これで3位決定戦に回ることに

決定したが、次の試合はを勝ってメダルを取ることを期待したい。

(文責: ユニバーシアード日本代表GKコーチ 足立 高浩)